



報道関係者各位

2023年3月23日
千葉県船橋市
株式会社マーケットエンタープライズ

千葉県では初めて 船橋市がリユースプラットフォーム 「おいくら」で不要品リユース事業をスタート

～リユースの選択肢増え、市民の利便性向上～

千葉県船橋市(市長:松戸 徹)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年3月24日(金)より、地域社会における課題解決を目的とした不要品リユース事業の連携をスタートすることとなりました。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を廃棄物として捨てずに再利用する仕組みを構築し、船橋市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

船橋市では、「未来へつなぐ 持続可能な循環型社会の実現を目指して～ふなばし資源循環プラン～」を基本理念に2R(リデュース・リユース)を推進しています。市ではこれまで、廃棄物の減量や資源化につながるイベント開催や情報発信を行なってきました。しかし、循環型社会の実現には、市民が取り組みやすいリユース施策導入が必要であると具体策を検討していました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心に事業展開しており、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動进行するなど、官民の垣根を超えたSDGsへの取り組みに注力してまいりました。そうした中で、マーケットエンタープライズから働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取り組みが実現しました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。

ウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

■船橋市の課題と「おいくら」による解決策

船橋市では、環境や廃棄物の抑制、資源化に関する情報をまとめた啓発紙を年に数回発行するなど、積極的に市民への情報発信を行なっています。加えて、2R(リデュース・リユース)推進を目的に、リユースショップの活用を市民へ促してきました。しかし、市民からは「手軽にリユースができるサービスがほしい」や、「不要品をリユースショップへ持っていきができない」といった声が寄せられていました。マーケットエンタープライズが運営する「おいくら」は、一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ110万人(2022年11月現在)の方にご利用いただいているサービスです。希望すれば、自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも不要品売却が容易にできるようになり、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に、不要品の売却と受け渡しが可能となります。本取り組みによって、簡単にかつ廃棄ではなく売却という形で不要品のリユースができることを市民が認知することにより、「リユースする」という選択肢が増え、不要品処分やリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、本取り組みに関して船橋市の費用負担もありません。

■今後について

例年、船橋市では、3月からの新生活シーズンに家庭から排出される大型廃棄物の依頼件数が増加する傾向がありますが、施策導入により、廃棄物量そのものの削減を目指します。3月24日(金)より、船橋市ホームページ内(<https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/gomi/005/p113539.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。加えて、家電リサイクル法対象であるテレビや冷蔵庫、洗濯機などの製品も、まだ活用できるものであれば、「おいくら」での買取が可能となります。市民が不要品の処分を検討する際に、「ごみ」として廃棄せず、「まだ使えるかもしれない」・「価値があるかもしれない」と気付いて自主的にリユースすることができれば、廃棄物量の減少が見込まれます。本取り組みにより、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、住民の皆さま・自治体双方の廃棄コスト削減による経済的負担の軽減へと繋がります。この官民一体の取り組みによって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■千葉県船橋市

全国的に人口減少が進んでいる中で、船橋市は現在も緩やかに人口が増加しており、今では人口64万5千人を擁する、政令指定都市を除くと全国で一番人口規模の大きな市へと成長しています。東京から20キロ圏内に位置しており、JR船橋駅から東京駅までわずか24分と都心へのアクセスも抜群です。

人口:645,386人(男 319,133人、女 326,253人) (2023年2月1日)

世帯数:296,944世帯(2023年2月1日)

面積:85.62平方キロメートル

ウェブサイト：<https://www.city.funabashi.lg.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ640万人を達成しました。3月24日の船橋市との提携により、「おいくら」を導入する自治体は、全国で31にのぼります。

「おいくら」自治体向けウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ 広報

担当：立花、柏木

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp